ノート

Economic IRR とその活用

木村健一* 砂本直樹†

2019 年 1 月 15 日投稿
2019 年 3 月 11 日受理

概要

自己資本、リスクおよびリターンの一体的管理は今日的な統合的リスク管理（ERM）の基本であり、これらは ESR、ROE および RORC により関連付けられる．RORC に代表されるリスク調整後収益率は、経営戦略の策定やその分析と密接に係わっているため経営の意思決定に重要な役割を担っているものの、ESR に関する情報が明示的に得られない点で限界があった．本稿ではこのような限界を補完することを目的として、経済価値ベースの内部収益率（Economic Internal Rate of Return、または Economic IRR）を導入する．Economic IRR は初期投資と必要資本に対する内部収益率として計算され ESR との連動性が高いという特徴を持つ．以下では、はじめに Economic IRR の理論面の整理を行い、然るのちに実務への応用について考察を行う．結論として Economic IRR が会社の意思決定プロセスに効果的に組み込まれることにより、自己資本、リスクおよびリターンの一体的管理を強化し、その結果会社のリスク・テイクの能力を高めることが可能となることを示す．

キーワード： Economic IRR, ESR, RORC, 必要資本

*富国生命保険相互会社主計部保険計理グループ　〒100-0011　東京都千代田区内幸町 1-3-1　Email:kenichi.kimura@fi.fukoku-life.co.jp
†富国生命保険相互会社リスク管理統括部　〒100-0011　東京都千代田区内幸町 1-3-1　Email: naoki.sunamoto@fi.fukoku-life.co.jp